

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	警防救急課長 小玉 朗	
消防-06	消火栓管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	警防救急課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防水利
意図	火災等に対応するための水利の確保を行うため。
効果	市民を火災等から守る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業者が行う配水管の新設がなかったため、消火栓の新設は実施していない。 ・水道法の規定に基づき消火栓の維持管理に要する費用を支出した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	消火栓維持管理事業	消火栓維持管理等補償料等	維持管理数(基)	2,777 / 2777	2777	2,777	100.00%
				5,868 / 6,200	6,200	5,805	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	5,868 / 6,200	6,200	5,805	
			事業費の合計(千円)	5,868 / 6,200	6,200	5,805	
		人件費(千円)		13,835	0		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	2.0			
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	消火栓維持管理事業	水道事業者と連携し市内にある公設消火栓を維持管理する費用のため	消火活動時に必要な消火栓を維持管理することで、減災につながり、市民に安全・安心を提供できる。	耐震性のある水道管へ付け替えが必要。設置年数が50年以上のものが多く維持管理費用がかさむ。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
協働			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
消防法第20条第2項の規定及び水道法第24条第2項により、水道営業所と連携し消火栓の維持管理に努めてるが、市内の消火栓の多くは昭和38年ごろから設置され既に50年を経過したものがあり、経年劣化による交換・修理等により消火栓維持管理費の増大が考えられる。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値	100	100					
	実績値	100	100					
	達成率	100.0%	100.0%					

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--